

令和元年度 全国学力・学習状況調査（6年生）について

4月に6年生が行った全国学力・学習状況調査の結果がまとまりましたので、概要をお伝えします（学校HPにも載せます）。この調査結果をもとに、児童一人ひとりが根気強く学習に取り組むことができるように引き続き取り組んでまいります。



国語

<成果>

「知りたいことを調べるために、選んだ本の目次の一部から、読むページとして適切なものを選択すること」の正答率が高くなっています。

<課題>

「漢字を文の中で正しく使うこと」「文章から分かったことをまとめて書くこと」は、苦手な児童が多く、平均を大きく下回っています。

算数

<成果>

「棒グラフからわかることを選ぶ」「長方形を直線で切ってできた図形の中から、台形を選ぶ」問題の正答率が高くなっています。

<課題>

「問題の式が、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ」「『時間』の求め方と、決められた時間内に対象物が到着できるか判断する」問題の正答率が全国の平均を大きく下回っています。

生活意識調査より

「学校に行くのは楽しい」「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」と答えた児童は、全国の平均を上回っています。将来の夢や目標を持っていると答えた児童は、平均を大きく下回っていました。

まとめ

学習に関しては、平均を下回っている項目が多く、課題が多くあります。授業で学習するだけでなく、家庭学習にも取り組み、定着をはかる必要があります。家庭と学校が連携し、一人ひとりの課題にあった学習ができるように引き続き支援してまいります。

川和小学校の児童は、地域行事への参加率、人との関わりや地域に対する関心が高いです。これからも、地域の力をお借りしながら、子どもらしい川和小学校の児童のよさを伸ばすことができるように支援していきたいと思っております。